

政策シート

政策名 02 海外需要を取り込み、国内事業の活性化を図るため中小企業の海外展開を促進

予算費目名 01 産業振興費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後)	◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。
政策の柱 (10年後)	<ul style="list-style-type: none"> ◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 01 世界の一步先を行く産業・サービスの創造

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

活力ある海外市場の需要を取り込み、国内事業の活性化を図ろうとする意欲的な中小企業の海外展開を支援することで、税収及び雇用を確保し、地域経済の持続的発展を図る。

①海外進出支援...東南アジアを中心とした成長国への進出・現地拡大をサポート
②海外販路開拓支援...市内で高度な「ものづくり」を継続する中小企業の海外販路開拓をサポート

(3) 関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用							
--------	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	36,102	12,301	30,555			
決算	29,063	9,926				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	19,600	19,600	17,500			
年間経費(予算又は決算+A+B)	48,663	29,526	48,055			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見本市出展企業の成約件数	件	目標	25	30	35	40	45	50
		実績	10	(見本市中止のため出展なし)				
海外展開企業数 ※県の調査によるもの	社	目標	130	131	132	133	134	135
		実績	130	121				

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

活力ある海外市場の需要を取り込み、国内事業の活性化を図ろうとする意欲的な中小企業の海外展開を支援することで、税収及び雇用を確保し、地域経済の持続的発展を図った。

①海外進出支援 - 東南アジアを中心とした成長国への進出・現地拡大をサポート
②海外販路開拓支援 - 市内で高度な「ものづくり」を継続する中小企業の海外販路開拓をサポート

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

政策指標のうち海外展開企業数(県調査)が目標未達となったが、これはコロナ禍において県のアンケート調査の回答率が低かったことが要因だと推測される。新興国経済の停滞や円安基調等の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、市内企業の新規進出案件は少ない状況である。しかしながら、大手メーカーの日本帰りの動きは少なく、海外生産・現地調達は依然進行しており、人口減少社会の到来による国内需要の縮小が懸念される中で、市内企業の経営の維持・拡大に向けては海外需要の獲得は重要であるため、海外ビジネスサポートデスクや海外政府機関との連携などこれまでに構築した支援体制を活用し、海外展開支援を実施した。

また、海外見本市出展による海外販路開拓支援については、新型コロナウイルス感染症の影響により出展を予定していた見本市が中止となったため、政策指標の成約件数は測定不能であった。多くの展示会が中止・延期されるなか、コロナ禍においても市場規模が拡大している「越境EC」に関するセミナーを開催し、新たな海外販路開拓手法について、市内企業等へ情報提供を実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	海外ビジネス展開支援事業	○	○	○		48,055	30,555	2.5			
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						48,055	30,555	2.5			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 海外ビジネス展開支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

活力ある海外市場の需要を取り込み、国内事業の活性化を図ろうとする意欲的な中小企業の海外展開を支援することで、税収及び雇用を確保し、地域経済の持続的発展を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H25	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(2)ア						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	6						

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑧成長・雇用
事業とゴールの関連性	本事業は、活力ある海外市場の需要を取り込み、国内事業の活性化を図ろうとする意欲的な中小企業の海外展開を支援することで、地域経済の持続的な発展を図ることを目的としている。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	36,102	12,301	30,555			
	決算	29,063	9,926				
	国・県支出			352			
	市債						
	その他						
	一般財源	29,063	9,926	30,203			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	19,600	19,600	17,500			
人工	正規	2.8	2.8	2.5			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		48,663	29,526	48,055			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
見本市出展企業の成約件数(件)	I-1(2) ア	6	目標	25	30	35	40	45	50
			実績	10	-(見本市中止のため出展なし)				
海外展開企業数(社)※県の調査によるもの	I-1(2) ア	-	目標	165	131	132	133	134	135
			実績	130	121				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	02	01	001702000	01	産業振興課	岩崎 英浩	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【R1-R4重点戦略項目No.6】

- ①海外ビジネスサポートデスク運営事業...海外ビジネス展開に関する総合的な相談窓口を市内及び現地に開設し、各種支援を実施。市内では企業訪問を行い、積極的に企業の課題解決を支援。
- ②海外販路開拓支援事業...世界有数の国際見本市に共同出展ブースを確保し、市内中小企業に出展機会を提供することで、海外販路開拓を支援。また、海外販路開拓手法についてセミナーを開催。＜出展見本市：COMPAMED(ドイツ・健康医療)、Photonics West(アメリカ・光電子)＞・・・新型コロナウイルス感染症の影響で出展取りやめ。
- ③経済交流推進事業...経済交流に関する覚書等を締結しているタイ・ベトナム・インドネシア政府機関と連携した各国との経済交流事業(海外ビジネスセミナー等)などを実施。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

政策指標のうち海外展開企業数(県調査)が目標未達となったが、これはコロナ禍において県のアンケート調査の回答率が低かったことが要因だと推測される。新興国経済の停滞や円安基調等の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、市内企業の新規進出案件は少ない状況である。しかしながら、日本企業の日本回帰の動きは少なく、海外生産・現地調達は依然展開されており、人口減少社会の到来による国内需要の縮小が懸念される中で、市内企業の経営の維持・拡大に向けては海外需要の獲得は重要であるため、海外ビジネスサポートデスクや海外政府機関との連携などこれまでに構築した支援体制を活用し、海外展開支援を実施した。

また、海外見本市出展による海外販路開拓支援については、新型コロナウイルス感染症の影響により出展を予定していた見本市が中止となったため、政策指標の成約件数は測定不能であった。多くの展示会が中止・延期されるなか、コロナ禍においても市場規模が拡大している「越境EC」に関するセミナーを開催し、新たな海外販路開拓手法について、市内企業等へ情報提供を実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大

- ・経営環境の悪化等により、現地法人の再編を余儀なくされる企業がある。
- ・海外見本市への出展等、人の移動を伴う販路開拓が困難となっており、非対面・非接触の販路開拓手法が必要となっている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・海外販路開拓支援事業について、NAMM Showへの出展企業の自立化に伴い、浜松市ブースとしての共同出展支援を終了した。
- ・海外ビジネスサポートデスクにおいて積極的に企業訪問を行い、企業が直面している課題を掘り起こし、企業のニーズに即した適切なサポートを実施した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・海外ビジネスサポートデスクにおいて積極的に企業訪問を行い、企業が直面している課題を掘り起こし、企業のニーズに即した適切なサポートを実施する。
- ・海外販路開拓支援事業について、新たな海外販路開拓及び新型コロナウイルス感染症への対応にもなる「越境EC」に関するセミナーを開催し、市内中小企業に対して最新情報を提供する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目No.6】

- ①海外ビジネスサポートデスク運営事業...海外ビジネス展開に関する総合的な相談窓口を市内及び現地に開設し、各種支援を実施。市内では企業訪問を行い、積極的に企業の課題解決を図る。
- ②海外販路開拓支援事業...世界有数の国際見本市に共同出展ブースを確保し、市内中小企業に出展機会を提供することで、海外販路開拓を支援。また、越境ECセミナーを開催し、市内中小企業に対して最新情報を提供。＜出展見本市：COMPAMED(ドイツ・健康医療)、Photonics West(アメリカ・光電子)＞
- ③経済交流推進事業...経済交流に関する覚書等を締結しているタイ・ベトナム・インドネシア各政府機関と連携した経済交流事業(海外ビジネスセミナー等)を実施。

